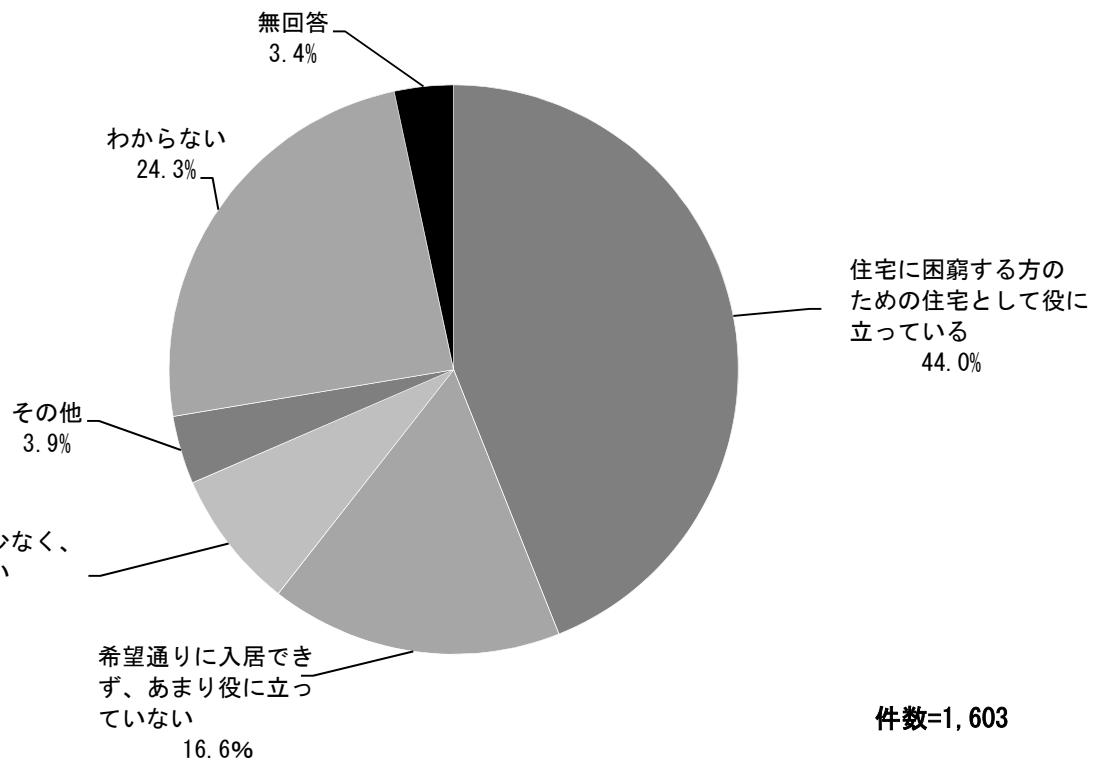


7 県営住宅の役割について

(1) 県営住宅のイメージ

「住宅に困窮する方のための住宅として役に立っている」が 44.0%

問35 あなたは、県営住宅についてどんなイメージを持っていますか。【〇は1つ】

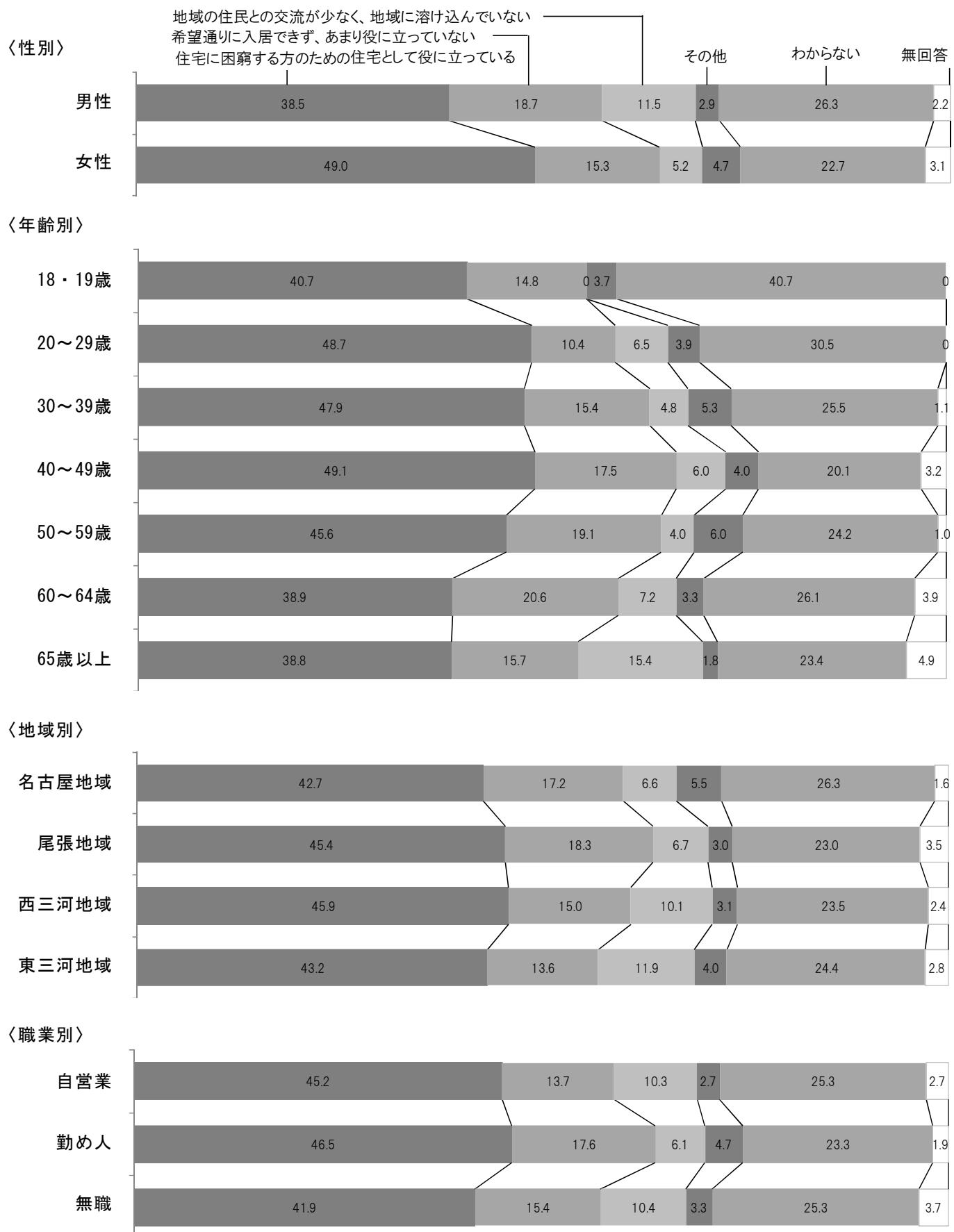


県営住宅のイメージについて、「住宅に困窮する方のための住宅として役に立っている」と答えた人の割合が 44.0% と最も高く、続いて「希望通りに入居できず、あまり役に立っていない」(16.6%)、「地域の住民との交流が少なく、地域に溶け込んでいない」(7.9%) の順となっている。

一方で、「わからない」と答えた人の割合は 24.3% となっている。

県営住宅のイメージ（性別、年齢別、地域別、職業別）

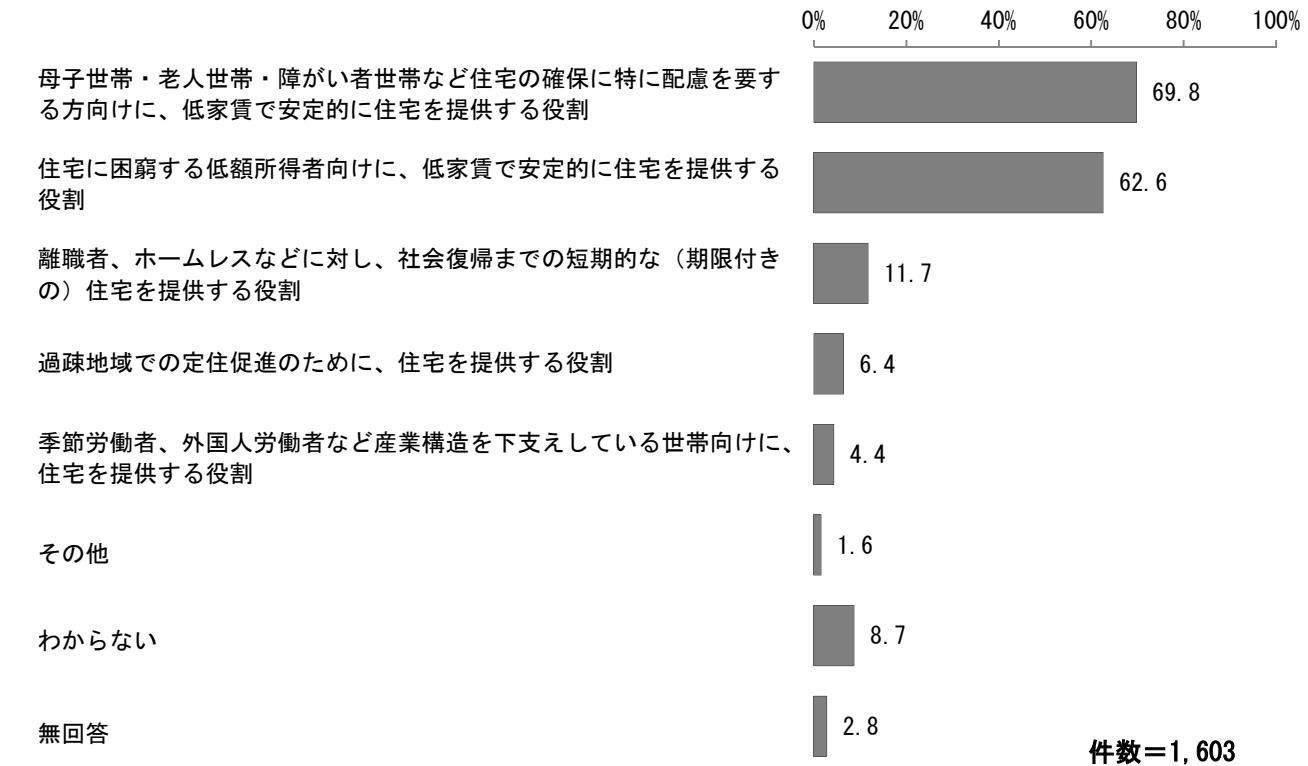
(%)



(2) 県営住宅の果たすべき役割

「母子世帯・老人世帯・障がい者世帯など住宅の確保に特に配慮を要する方向けに、
低家賃で安定的に住宅を提供する役割」が 69.8%

問36 あなたは、県営住宅はどのような役割を果たすべきと考えますか。【〇は2つまで】



県営住宅の果たすべき役割について、「母子世帯・老人世帯・障がい者世帯など住宅の確保に特に配慮を要する方向けに、低家賃で安定的に住宅を提供する役割」と答えた人の割合が 69.8% と最も高く、続いて「住宅に困窮する低額所得者向けに、低家賃で安定的に住宅を提供する役割」(62.6%)、「離職者、ホームレスなどに対し、社会復帰までの短期的な（期限付き）住宅を提供する役割」(11.7%) の順となっている。

県営住宅の果たすべき役割（性別、年齢別、地域別、職業別）

(%)

母子世帯・老人世帯・障がい者世帯など住宅の確保に特に配慮を要する方向けに、低家賃で安定的に住宅を提供する役割

住宅に困窮する低額所得者向けに、低家賃で安定的に住宅を提供する役割

離職者、ホームレスなどに対し、社会復帰までの短期的な（期限付き）の住宅を提供する役割

〈 性 別 〉

男 性	67.1
女 性	72.7

63.0
63.3

11.6
11.9

〈 年 齢 別 〉

18 ・ 19 歳	55.6
20 ~ 29 歳	66.2
30 ~ 39 歳	73.9
40 ~ 49 歳	73.9
50 ~ 59 歳	70.5
60 ~ 64 歳	72.8
65 歳 以 上	67.1

59.3
61.7
64.9
67.0
63.1
66.7
58.6

22.2
18.8
14.4
11.8
9.7
11.7
8.7

〈 地 域 别 〉

名 古 屋 地 域	70.6
尾 張 地 域	71.3
西 三 河 地 域	69.1
東 三 河 地 域	68.8

64.3
63.2
64.2
58.5

11.5
10.1
14.4
13.6

〈 職 業 别 〉

自 営 業	70.5
勤 め 人	71.9
無 职	67.8

60.3
64.6
63.3

11.6
12.8
10.8

過疎地域での定住促進のために、住宅を提供する役割

季節労働者、外国人労働者など産業構造を下支えしている世帯向けに、住宅を提供する役割

わからない

〈 性 别 〉

男 性	8.0
女 性	5.3

6.5
2.8

9.4
8.2

〈 年 齢 别 〉

18 ・ 19 歳	3.7
20 ~ 29 歳	3.2
30 ~ 39 歳	7.4
40 ~ 49 歳	7.5
50 ~ 59 歳	6.7
60 ~ 64 歳	3.9
65 歳 以 上	7.7

3.7
10.4
2.7
4.9
3.0
3.9
3.9

25.9
10.4
7.4
5.5
8.4
7.8
11.3

〈 地 域 别 〉

名 古 屋 地 域	6.4
尾 張 地 域	6.7
西 三 河 地 域	5.8
東 三 河 地 域	6.8

3.5
5.0
3.4
6.8

9.0
7.4
9.5
11.4

〈 職 業 别 〉

自 営 業	6.2
勤 め 人	7.6
無 职	4.6

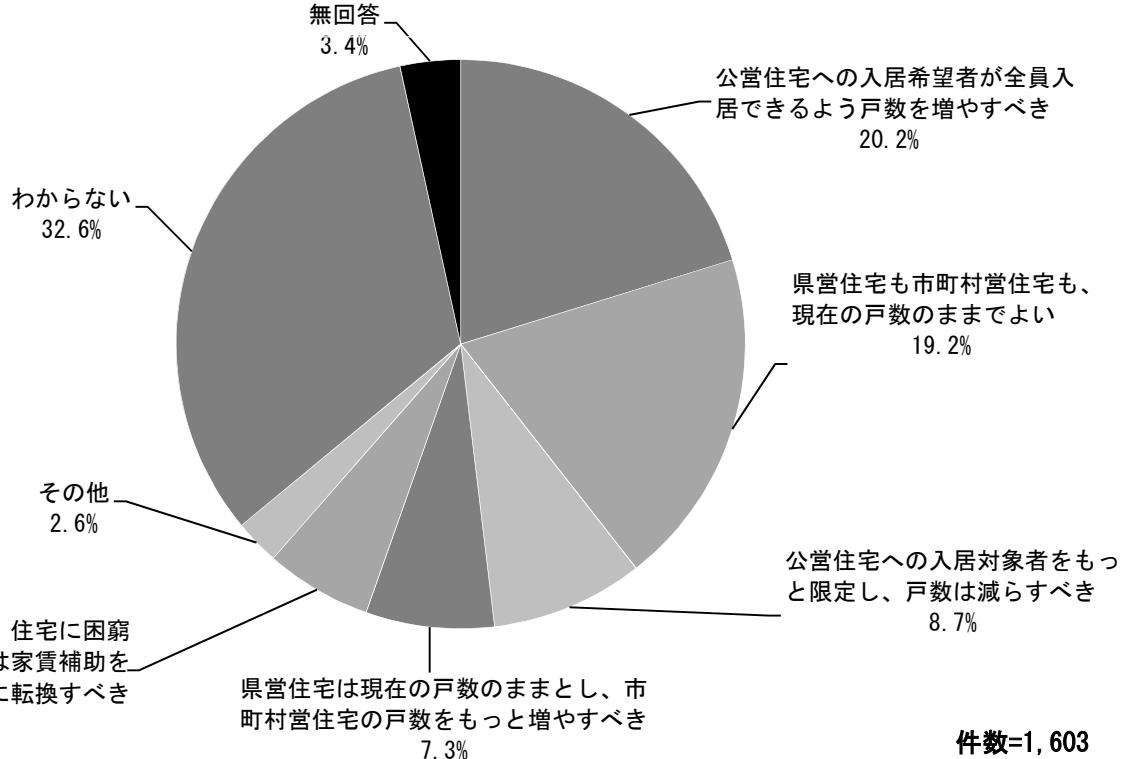
5.5
4.7
3.9

8.9
6.6
12.0

(3) 公営住宅の戸数

「公営住宅への入居希望者が全員入居できるよう戸数を増やすべき」が 20.2%

問37 公営住宅は、現在、愛知県内に県営住宅が約6万戸、市町村営住宅が約8万戸あり、適宜、入居募集をしています。あなたは、公営住宅の戸数を今後どうするべきと考えますか。【〇は1つ】

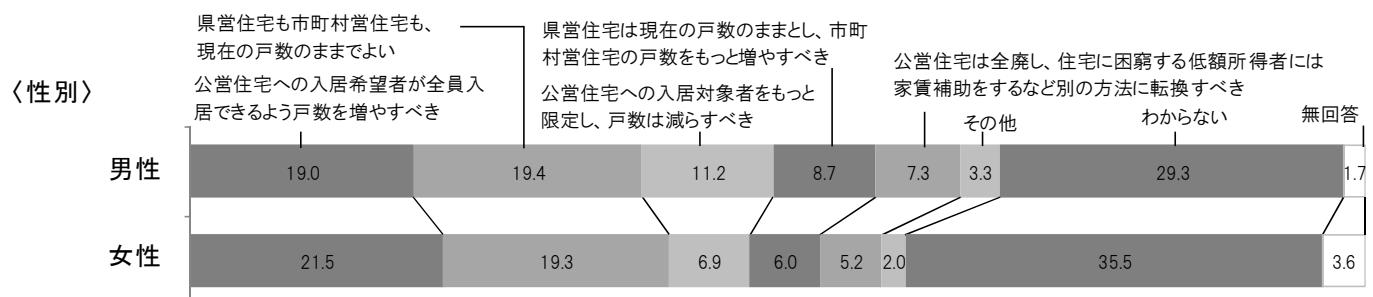


公営住宅の戸数について、「公営住宅への入居希望者が全員入居できるよう戸数を増やすべき」と答えた人の割合が 20.2% と高く、続いて「県営住宅も市町村営住宅も、現在の戸数のままでよい」(19.2%)、「公営住宅への入居対象者をもっと限定し、戸数は減らすべき」(8.7%) の順となっている。

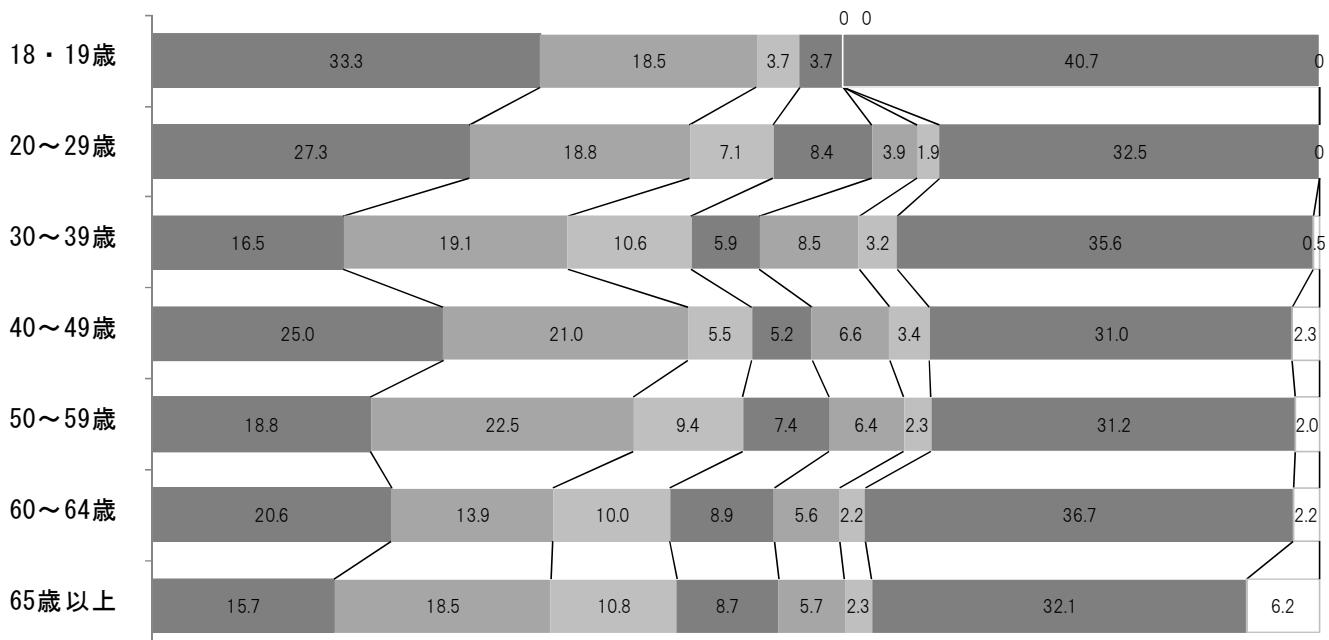
一方で、「わからない」と答えた人の割合は 32.6% となっている。

公営住宅の戸数（性別、年齢別、地域別、職業別）

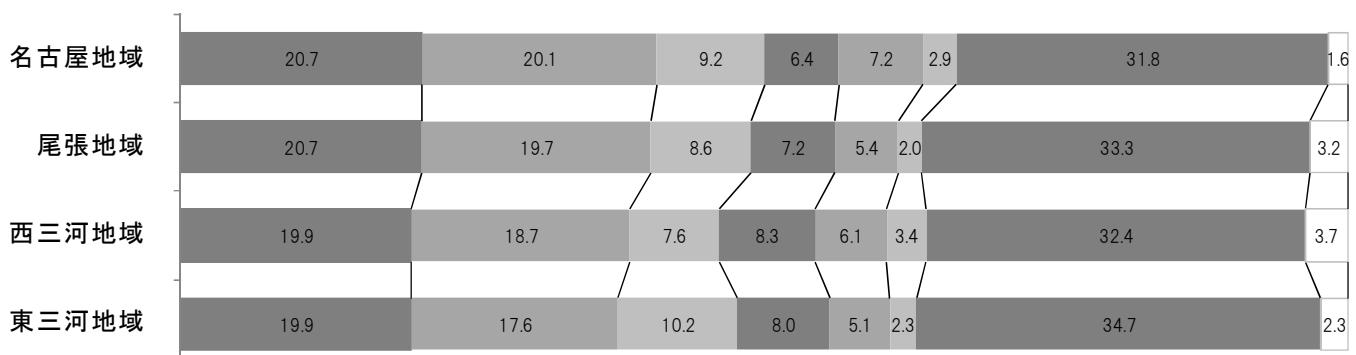
(%)



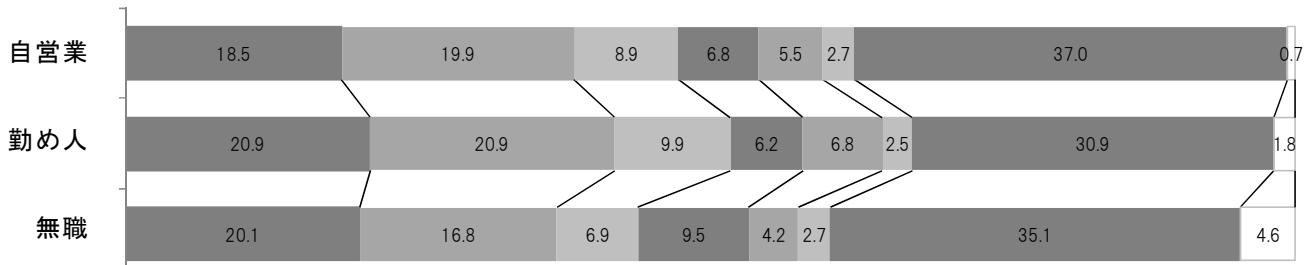
〈年齢別〉



〈地域別〉



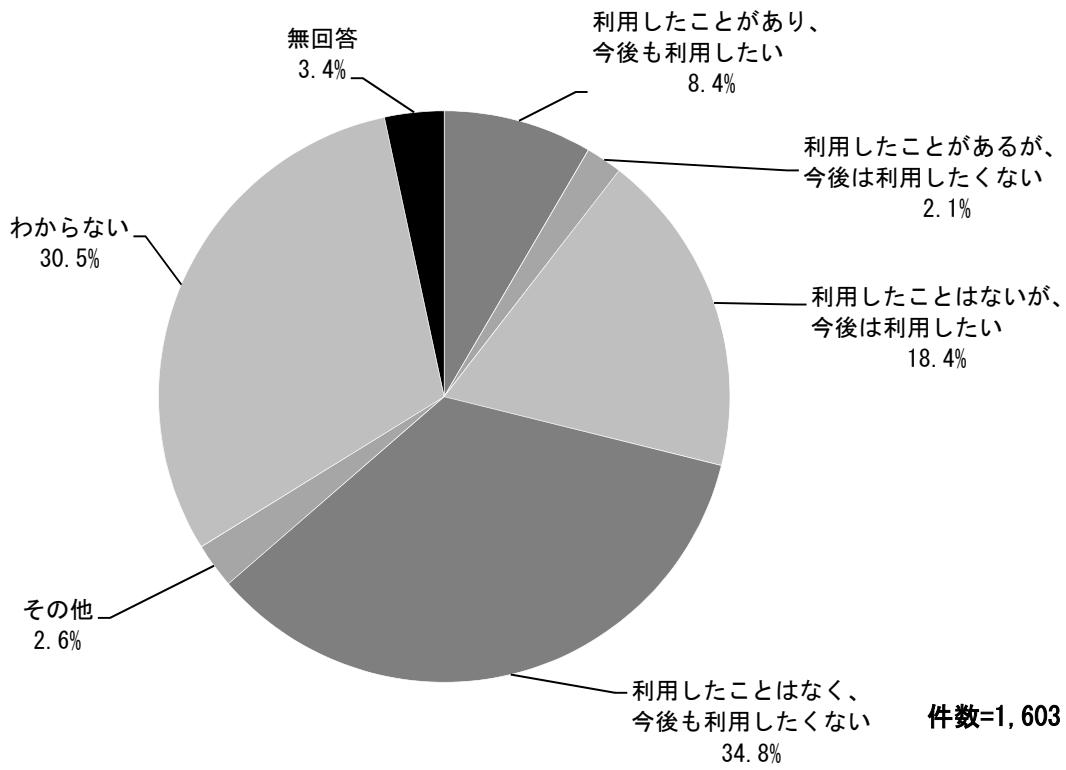
〈職業別〉



(4) 県営住宅の共同施設の利用

「利用したことはなく、今後も利用したくない」が34.8%

問38 県営住宅は、住棟のほかに共同施設として集会所、児童遊園などが整備され、一部は地域に開放されています。あなたは、これらの施設を利用したことがありますか。または今後利用したいですか。【〇は1つ】

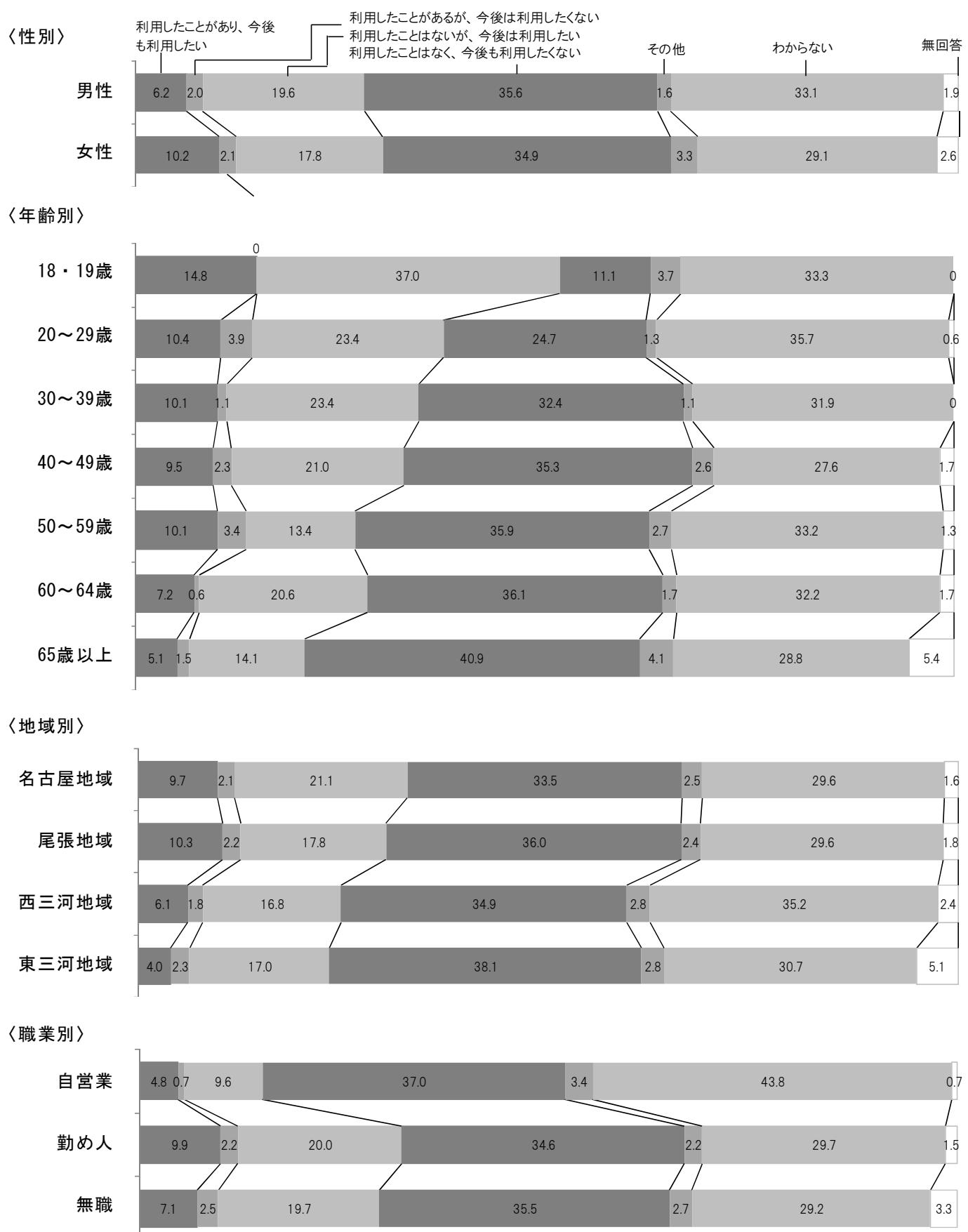


県営住宅の共同施設について、「利用したことはなく、今後も利用したくない」と答えた人の割合が34.8%と最も高く、続いて「利用したことはないが、今後は利用したい」(18.4%)、「利用したことがあり、今後も利用したい」(8.4%)の順となっている。

一方で、「わからない」と答えた人の割合は30.5%となっている。

県営住宅の共同施設の利用（性別、年齢別、地域別、職業別）

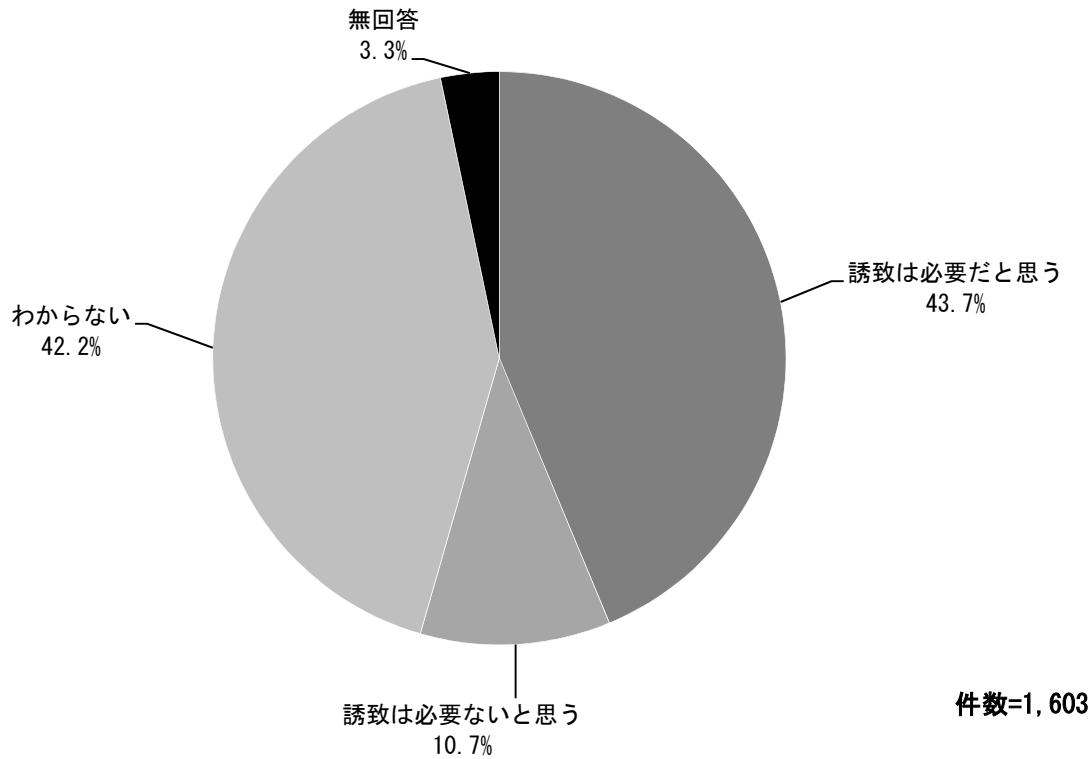
(%)



(5) 県営住宅の未利用地への施設誘致

「誘致は必要だと思う」が 43.7%

問39 あなたは、県営住宅の建替の際に生じることのある、県営住宅用地として利用していない土地に、地域に資する施設を誘致することについてどのように考えますか。【○は1つ】



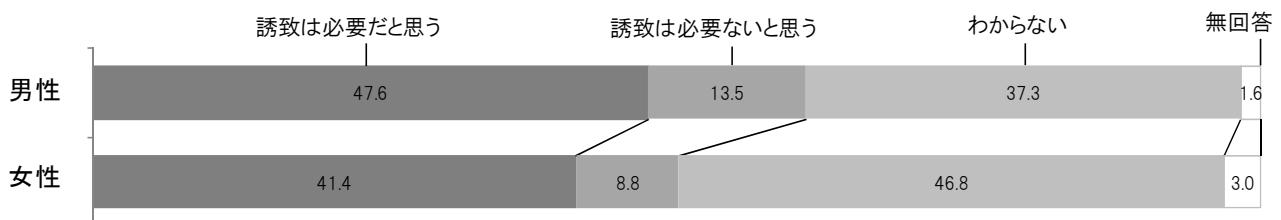
県営住宅の未利用地に地域に資する施設を誘致することについて、「誘致は必要だと思う」と答えた人の割合が 43.7% と最も高く、続いて「誘致は必要ないと思う」(10.7%) の順となっている。

一方で、「わからない」と答えた人の割合は 42.2% となっている。

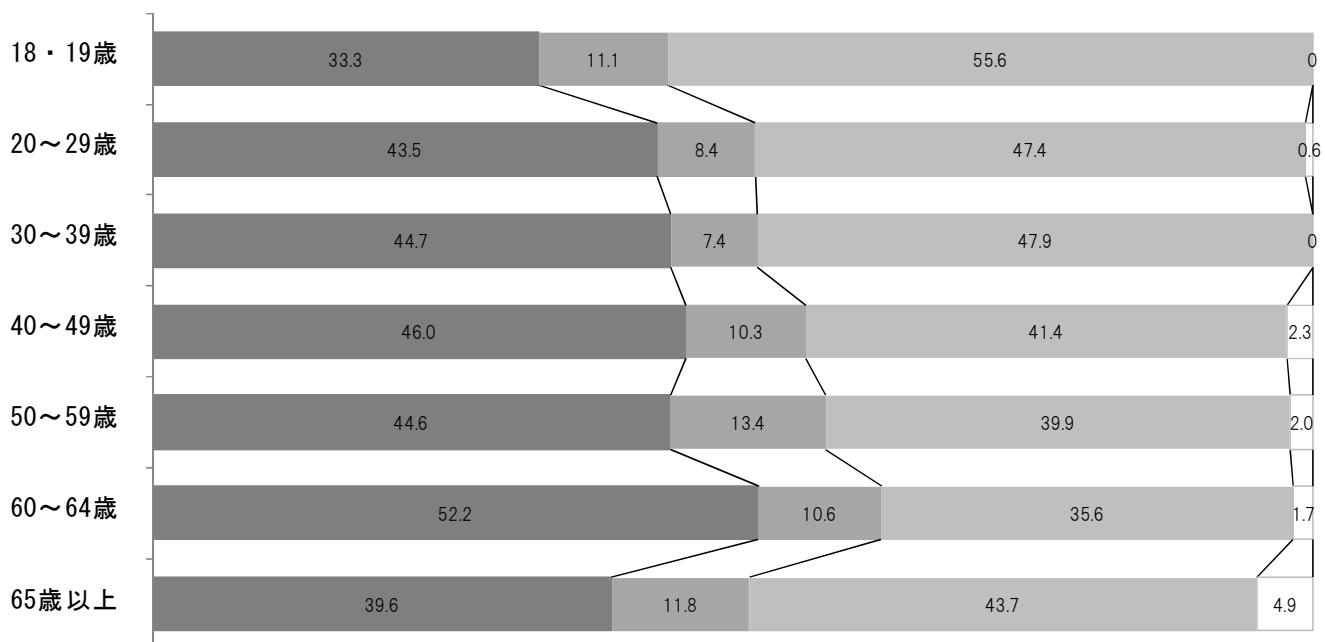
県営住宅の未利用地への施設誘致（性別、年齢別、地域別、職業別）

(%)

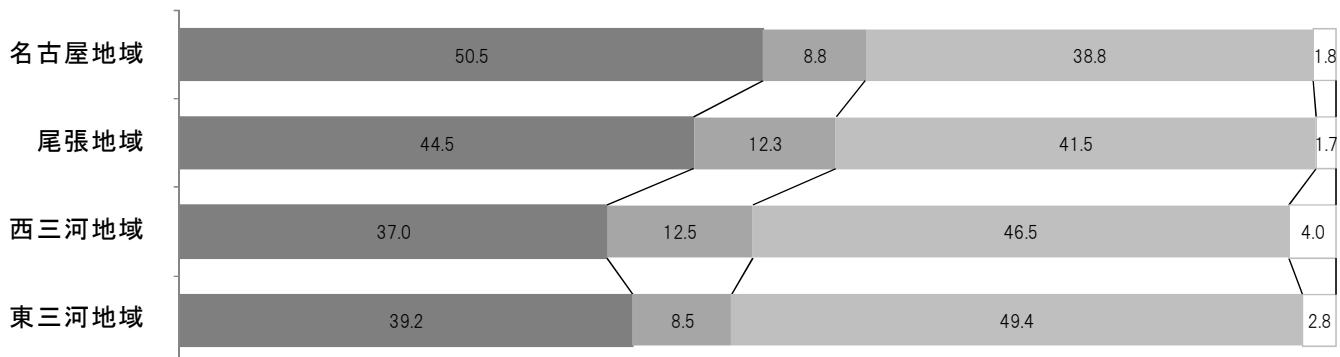
〈性別〉



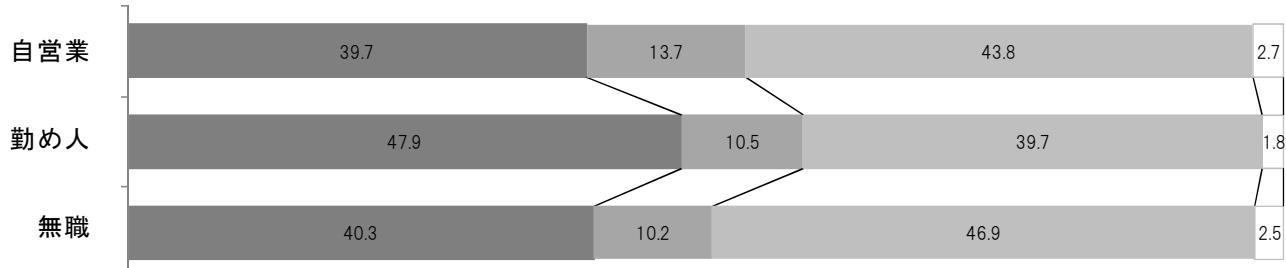
〈年齢別〉



〈地域別〉



〈職業別〉

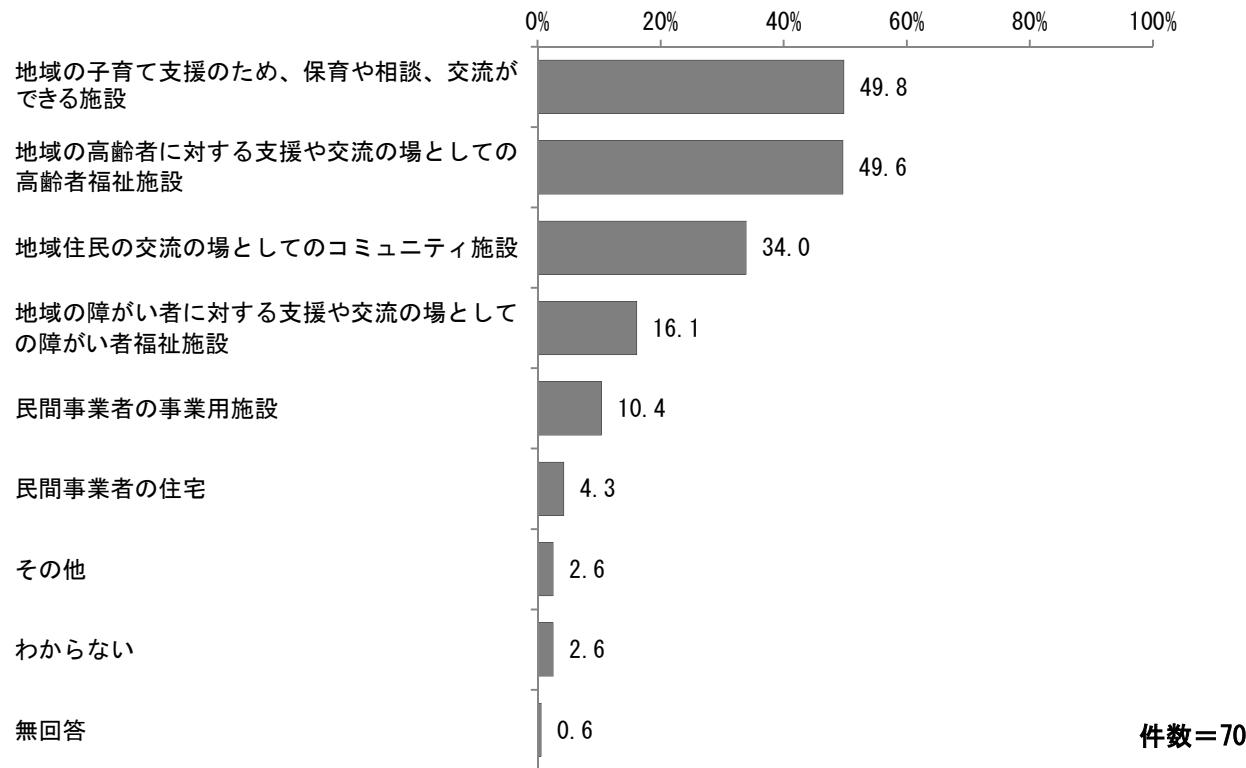


(6) 県営住宅の未利用地に誘致を期待する施設

「地域の子育て支援のため、保育や相談、交流ができる施設」が 49.8%

問40 《問39で、「1 誘致は必要だと思う」と答えた方にお聞きします。》

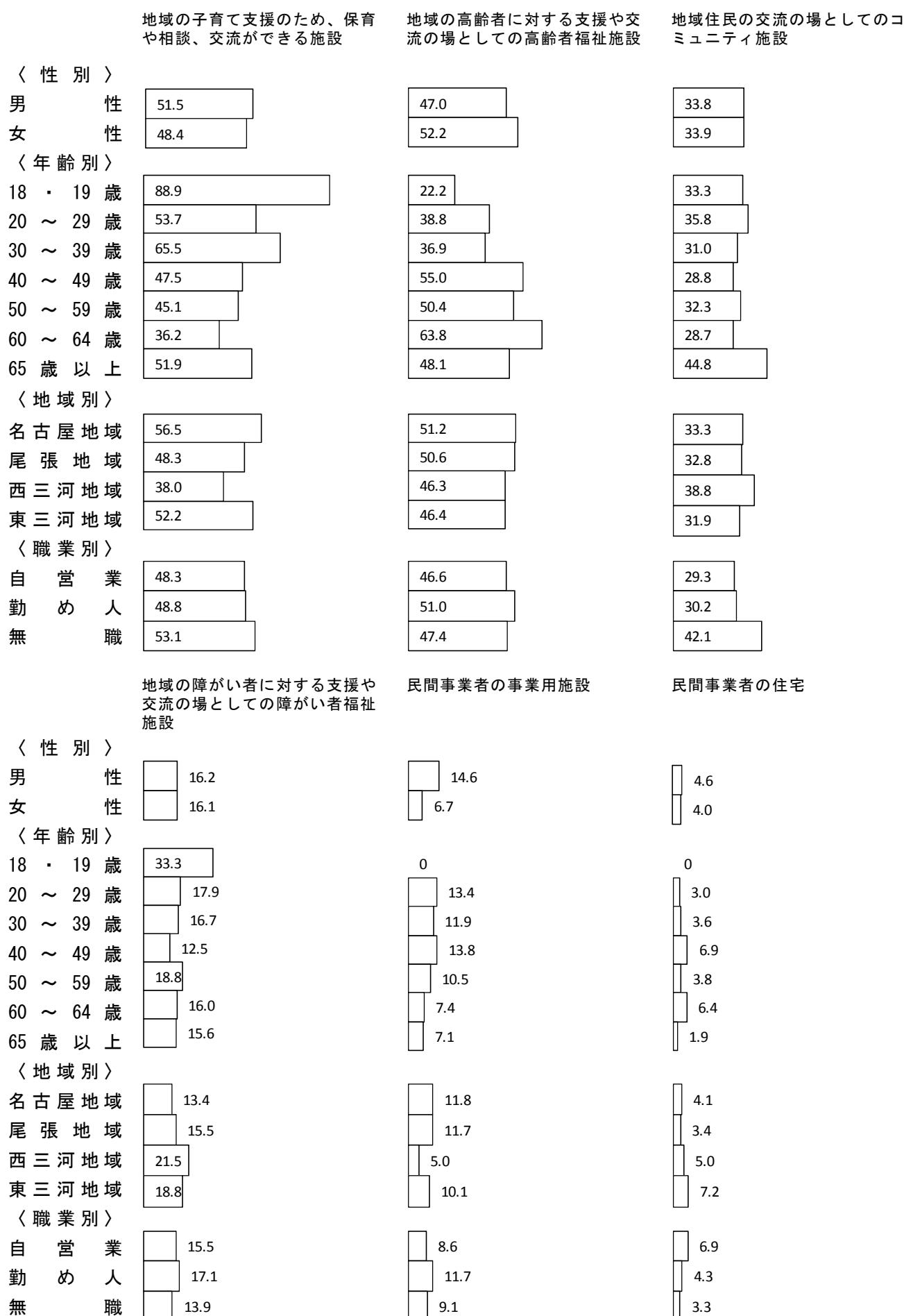
あなたは、県営住宅の建替の際に生じることのある、県営住宅用地として利用していない土地に、どのような施設を誘致することを期待しますか。【○は2つまで】



県営住宅の未利用地に誘致を期待する施設について、「地域の子育て支援のため、保育や相談、交流ができる施設」と答えた人の割合が 49.8% と最も高く、続いて「地域の高齢者に対する支援や交流の場としての高齢者福祉施設」(49.6%)、「地域住民の交流の場としてのコミュニティ施設」(34.0%) の順となっている。

県営住宅の未利用地に誘致を期待する施設（性別、年齢別、地域別、職業別）

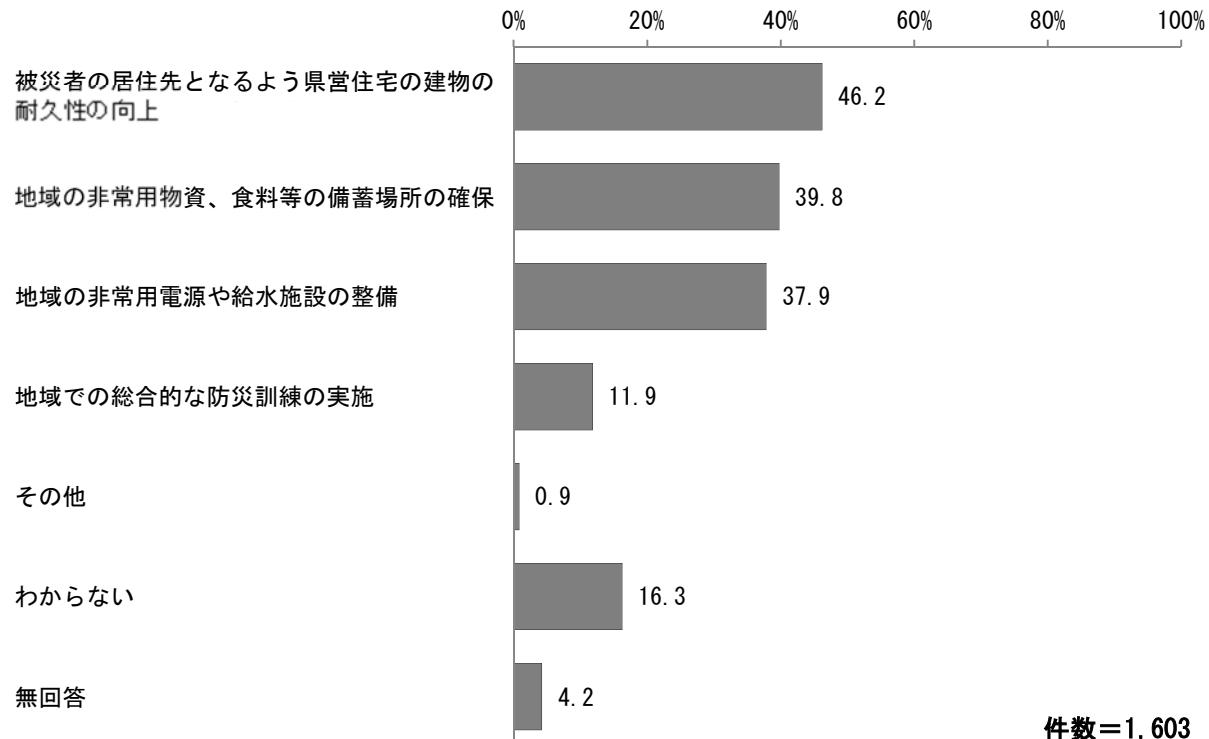
(%)



(7) 地域の防災対策として県営住宅が取り組むべきこと

「被災者の居住先となるよう県営住宅の建物の耐久性の向上」が 46. 2%

問41 あなたは、地域の防災対策として、今後、県営住宅はどのようなことに取り組むべきと考えますか。【〇は2つまで】

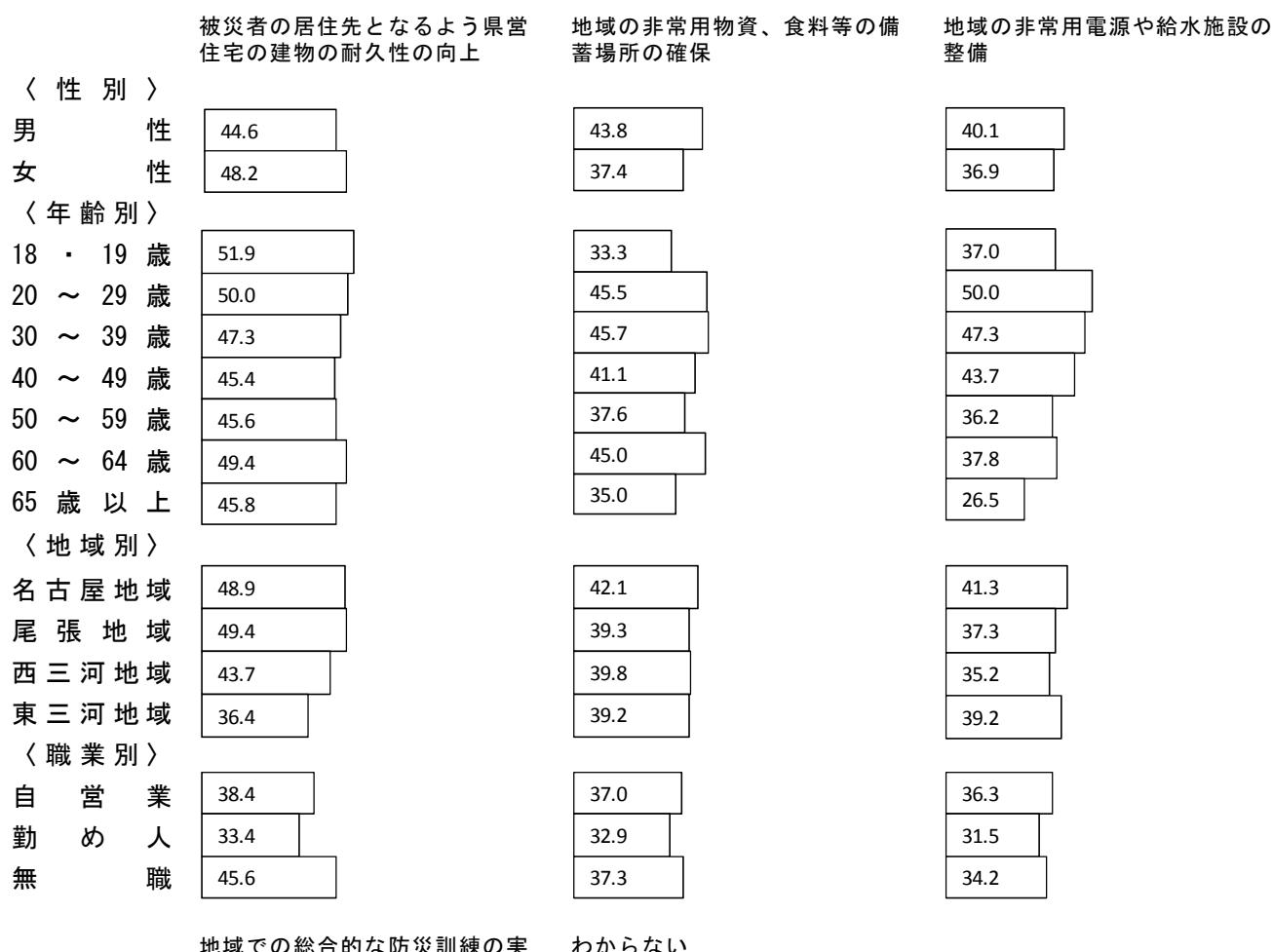


地域の防災対策として県営住宅が取り組むべきことについて、「被災者の居住先となるよう県営住宅の建物の耐久性の向上」と答えた人の割合が 46. 2% と最も高く、続いて「地域の非常用物資、食料等の備蓄場所の確保」(39. 8%)、「地域の非常用電源や給水施設の整備」(37. 9%) の順となっている。

一方で、「わからない」と答えた人の割合は、16. 3% となっている。

地域の防災対策として県営住宅が取り組むべきこと（性別、年齢別、地域別、職業別）

(%)



地域での総合的な防災訓練の実施　わからない

